

# 2024年度 和泉運輸株式会社 環境方針及び環境行動計画

## 環境方針

### 基本理念

当社は、事業活動に伴い発生する環境負荷を減らすことが企業の持続性のための重要課題であると考え、具体的行動を通してその責任を果たしていきます。



### 基本方針

- ①環境関連法規則、条例、協定及びその他の要求事項を遵守し、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努めます。
- ②自動車からの排出ガスによる地球温暖化、大気汚染を防止するため、エコドライブの実践、最新規制適合ディーゼル車や低公害車等の導入を推進します。
- ③廃棄物の削減、適正処理、リサイクルを推進します。
- ④燃費改善目標などの環境目標を定め、定期的に見直すことにより、環境保全活動の継続的な改善に努めます。
- ⑤環境教育、啓発活動を通じて全従業員に本方針を周知するとともに、社員の環境保全意識の向上を図り、地域の環境保護活動に貢献します。

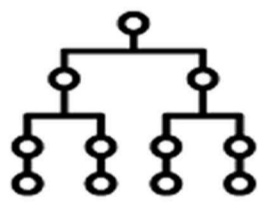
## 環境行動計画

### 環境保全活動への取り組みについての現状把握と課題

（「グリーン経営推進チェックリスト」に基づく現状把握と今後の課題）

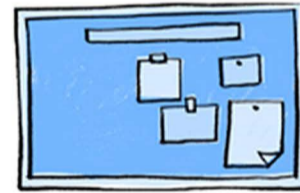
#### (1) 環境保全のための仕組み・体制の整備

環境方針を策定し、環境保全部門及び推進体制を定め、従業員に対して環境関連法規制の内容を伝えるなどしている。



#### (2) エコドライブの実施

燃費の把握や燃費改善目標の設定、エコドライブの基礎的な教育などを行っている。



#### (3) 低公害車の導入

現状、低公害車に準ずる最新の低炭素型排出ガス規制適合ディーゼル車は32台、環境適合ラベルの架装車両は57台ある。2024年度は低炭素型排出ガス規制適合ディーゼル車を5台、環境適合ラベル架装車両を6台購入する。



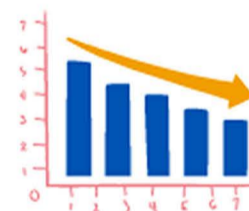
#### (4) 自動車の点検・整備

おおむね各項目とも点検整備基準を定め、その実施に取り組んでいる。2023年度に管理者全員が日常点検講習会を受講し、2024年度の日常点検に起因する事故撲滅を図る。



#### (2) 「燃費向上 対前年比1%」に向けた具体的取組み

- ・ デジタルデータを活用の上、個人別運転順位表を公表し、経済運転目標達成の指導を毎月実施する。
- ・ 運輸安全衛生会議並びに設備安全衛生会議のテーマにエコドライブ・環境関連法を盛り込み、目標、行動計画の策定、従業員教育を毎月行う。
- ・ 待機時のアイドリングストップ推進のため、アイドリングストップ車両・アイドリングストップクーラー・ドライブレコーダー・デジタル導入を行う。



#### (5) 廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進

廃棄物処理は適正に実施している。2024年度も毎月実施する会議内で従業員への廃棄物に関する教育の実施を行う。



#### (6) 管理部門（事務所）における環境保全の推進

管理部門従業員に対する事務所での環境保全の教育は現業従業員とともに実施し、廃棄物分別、不要照明の消灯などできるものから取り組んでいる。書類の電子システム化を全社導入ならびにタブレット端末を活用しペーパーレス化をさらに推進している。



#### (3) 「事務所での環境保全の推進」に向けた具体的取組み

- ・ タブレット端末を活用し、会議等におけるペーパーレス化を図る。
- ・ WEB会議を用いて交通機関使用に伴うCO2発生を減じる。
- ・ 全乗務員へタブレット端末を貸与し、配車指図書・地図等のペーパーレス化を図り地球環境保全に努める。
- ・ 書類の電子化システム化を推進する。2024年度は経費精算システムを導入し、回覧物やFAX等のペーパーレス化を一層強化する。
- ・ 昼休憩中は事務所照明を消灯し、不要電力の削減を図る。



2024年4月1日

和泉運輸株式会社  
環境保全部門管理総括責任者

代表取締役

神村 純